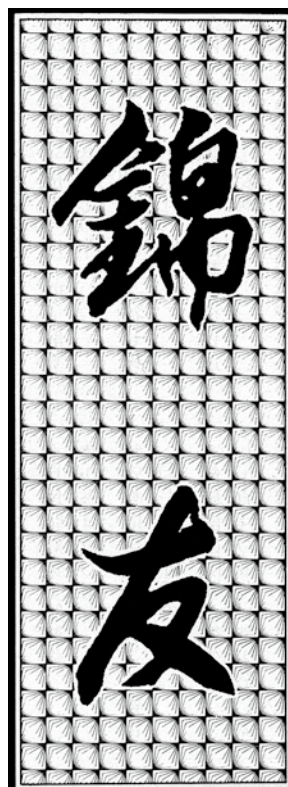


一般社団法人 詩吟朗詠錦城会

「錦友」発行300号記念 師範吟詠発表会

新型コロナウイルス感染リスクを抑えるため中止



一 吟 徹 心 靈
一 曲 能 興 国

錦友…第301号

〈令和2年4月10日〉

・編集・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
・発行・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
東京都港区麻布十番2-4-14
電話:東京03-5484-3301 (代)
〒106-0045

◇新組織体の紹介◇

可部道場 (広島)

道場長 山本光恵

今泉延命寺双盤講保存会吟詠部 (東京)

吟詠部長 岡崎さちこ

佐賀県本部大会

(県本部45周年記念)

年の瀬も押し詰まる令和元年12月15日、錦城流宗家・山元錦城先生、錦城会会長・城戸城濤先生、詩舞道錦城流宗家・本村緑崇先生をお迎えし、小城市三日月町「ドウイング」にて、10年ぶりの佐賀県本部大会を開催いたしました。

琵琶舞物語『義経の最期』をメインに、地元佐賀県にちなむ『陶都有田』、『佐賀の詩風を偲ぶ』、『高田保馬を偲ぶ』、また『詩舞』、『書道吟』など盛り沢山の内容を発表いたしました。



当日は好天に恵まれ、たくさんのお客様を迎えることができた大変充実した大会になりました。客席を埋め尽くしたお客様も、満足された様子で、「素晴らしい大会の時には必ず声をかけて」



ね。今度は、友達誘ってくるから。」等々お褒めの言葉をいただきました。でも、「私も詩吟をやりたい。」「入会します。」の声が聞けなかったのが残念です。どうすれば、大会の開催を会員増強につなげることができるか、これからの課題だと思います。

今日の佐賀県本部の礎を築いてくださった、そして、多くの佐賀県にちなむ作品を遺して下さった初代佐賀県本部長・松尾城州先生に改めて感謝の意を表したいと思っています。

また、錦上花を添えて頂きました協賛の先生方、大変お世話になりました。ありがとうございました。最後にありがとうございましたが、佐賀県本部会員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

(佐賀県 古賀錦優)

小山城将先生を偲ぶ会を開催

昨年10月20日、福山市労働会館「みやび」に於いて、福山松浜支部・駅屋支部の会員50数名が集まり、小山城将先生を偲ぶ会を開催いたしました。



吟歴60数年、数知れない功績と多くの弟子を育ててこられた先生に、謝意と敬意を表し、黙禱と献花を捧げ、お元氣な頃の吟声の流れる会場で、小山先生との思い出やエピソードを共有し、先生へ届け！と吟詠と詩舞を披露しました。

献杯後は、それぞれが先生への想いを語り合う和やかな食事に移りました。先生のお陰で錦城流を吟じられる喜びを胸に、会員一同が、この日から小土井錦日支部長のもと、支部を発展させて恩顧に報いる事を誓い、気持ちを一つにすることができました。

(福山松浜支部副支部長・高橋城凰)

教場合同独吟会

総師範 東本錦伶

城南道場担当

阿比留錦松

東本門下指導師範のお弟子さん(孫弟子)を中心とした独吟会を開催。その時の感想記事を江口錦道総教師範のお弟子・初伝 江頭英世さんと、指導師範を代表して、阿比留錦松総教師範に綴って頂きました。

令和元年12月1日(日)午後1時、福岡市三宅地縁会館にて、南・中央・大宰府・城南・早良合同の新人会員を中心とした独吟会が開催された。

会員が選んだ詩を、指導師範共に練習を重ねての発表で、お互いに緊張した中にも成果を発揮、吟じた後の安堵感が窺えた。発表後、東本先生から一人一人に対する講評と今後の練習及び目標を提示して頂き、吟者、指導者共に改めて方向性を見い出せた。伝位の低い方、また見学者に向けての錦城流・錦城会の由来等の説明、先ずは、雅号を目指すこと、各教場に富士山の吟が聞かれ、仲間作りを良好にするように等の要望を出された。

福岡中央道場 百道教場

初伝 江頭英世



入会2カ月の青年を先頭に初体験とあつて、一応に緊張はあったものの、日頃の成果を発揮できたのでは・・・と、茶話会のビール一口が美味しかった。

後半、先輩の堂々とした吟も勉強になり、東本先生が錦城流の生立ち、流祖の指標「一吟心霊に徹す」の詩吟に託す思い、魂を込めた吟、詩文の中に命を吹き込むこと、深く高いものを目指せば、自ずと吟ずることが楽しくなると熱く語られた。また、吟者一人一人への感想と注重点が、実に丁寧で的確なことに感心させられた。

茶話会では、他教場との懇親を深め、入会の動機等を語り、最後に、東京五輪音頭二〇二〇を皆で踊り、各教場の発展を願う万歳三唱。東本先生、教場の先生方のご尽力に感謝し、次の機会を皆さんと共に期待し、願っております。

◆新師範の紹介◆

雅号	県名	取得日
佐藤錦青	(広島県)	1・11
木村錦豊	(大阪府)	1・12
吉川錦橙	(茨城県)	1・12
津川城洸	(茨城県)	1・12
吉田錦華	(福島県)	2・2
橋本城謙	(東京都)	2・3

◆催事のご案内◆

(令和2年4月～2年12月)

◆本会主催 ◆本会後援

◆東京都本部60周年(大田支部65周年、船橋道場45周年)記念大会

・4月26日(日)

・新宿文化センター

◆福岡県本部大会(50周年記念)

・5月31日(日)

・中止決定

◆定時総会、指導者講習・研修会

・6月25日(木)～26日(金)

・石川県 加賀観光ホテル

◆静岡県吟詠の集い

・7月上旬

◆広島県本部55周年記念大会

・9月20日(日)

・中止決定

◆一般社団法人詩吟朗詠錦城会全国大会

・10月4日(日)

・山口県周南市「周南市文化会館」

◆詩舞道錦城流全国大会

・11月22日(日)

・中止決定

◆組織体長の変更◆

・石山支部(滋賀)

支部長 明智城秀

◆新総師範の紹介◆

雅号	県名	取得日
山本城明	(福島県)	1・12
塚本錦合	(広島県)	1・12
政岡城興	(三重県)	1・12
小林城照	(長崎県)	1・12
高木城史	(滋賀県)	1・12
高羽城幹	(神奈川県)	1・12
久木田錦亮	(鹿児島県)	1・12
鈴木錦巧	(鹿児島県)	1・12
菊池錦郷	(東京都)	1・12
小土井錦日	(広島県)	1・12
寒河江城栄	(神奈川県)	1・12
中村錦爽	(鹿児島県)	1・12
山本城勘	(山口県)	1・12
後藤錦曜	(長崎県)	1・12
青島城菁	(静岡県)	1・12
田中錦晃	(長崎県)	2・3
中嶋城湖	(滋賀県)	2・3
終 錦俊	(滋賀県)	2・3
小林錦湖	(広島県)	2・3
迫田錦州	(鹿児島県)	2・3
佐藤錦綾	(神奈川県)	2・3
石橋錦紅	(福岡県)	2・3
土田城江	(滋賀県)	2・3
藤野錦瑞	(滋賀県)	2・3
北脇錦抄	(滋賀県)	2・3
榎田錦久	(鹿児島県)	2・3
國生城庵	(鹿児島県)	2・3
四元錦杏	(鹿児島県)	2・3
中村錦裕	(愛知県)	2・3
佐藤城孝	(神奈川県)	2・3
野瀬城夏	(滋賀県)	2・3
吉田城聡	(長崎県)	2・3

◆新大師範の紹介◆

雅号	県名	取得日
草野錦葉	(長崎県)	2・3
竹内錦鈴	(北海道)	2・3
児島錦聡	(鹿児島県)	2・3
安田城紘	(長崎県)	2・3
小堀錦州	(滋賀県)	2・3
鈴木錦蒼	(愛知県)	2・3
木村城月	(滋賀県)	2・3
川島城石	(滋賀県)	2・3
福地城窯	(滋賀県)	2・3
篠原錦皓	(福岡県)	2・3
末永錦花	(長崎県)	2・3
高木城浅	(滋賀県)	2・3
村田城有	(鹿児島県)	2・3
金澤城耀	(滋賀県)	2・3
西田城湖	(滋賀県)	2・3
本坊錦鵬	(鹿児島県)	2・3
久木田城康	(鹿児島県)	2・3
茂呂城蕉	(埼玉県)	2・3
朝倉錦洲	(宮城県)	2・3
村上城毅	(福岡県)	2・3
松本錦唱	(滋賀県)	2・3
西堀錦優	(滋賀県)	2・3
太田城昊	(滋賀県)	2・3
高橋錦道	(宮城県)	2・3
梅崎錦嶺	(佐賀県)	1・12
福岡城俊	(山口県)	1・12
野矢錦彭	(福島県)	1・12
木原錦宏	(長崎県)	1・12
松尾城仁	(佐賀県)	1・12
和田錦環	(広島県)	1・12
清水城仁	(愛知県)	1・12
林 錦寿	(大阪府)	1・12
菅 錦玲	(長崎県)	1・12
内田錦征	(滋賀県)	1・12
細道錦奏	(北海道)	1・12
円 城久	(滋賀県)	1・12
金子錦右	(佐賀県)	1・12
谷村城嗣	(滋賀県)	1・12
蛭川城穂	(愛知県)	1・12
廣内城島	(滋賀県)	2・3
河野錦嶺	(広島県)	2・3
酒井錦瑛	(東京都)	2・3
東 城征	(広島県)	2・3
大西錦祥	(滋賀県)	2・3
中野錦修	(東京都)	2・3
日高錦愛	(長崎県)	2・3
神垣錦涛	(広島県)	2・3
中本錦優	(広島県)	2・3
中田錦良	(広島県)	2・3
小嶋城慶	(滋賀県)	2・3
押田錦蓉	(東京都)	2・3
平 城楠	(鹿児島県)	2・3
中島城溪	(佐賀県)	2・3
木原錦翠	(佐賀県)	2・3
中西錦初	(広島県)	2・3
塩澤城佳	(静岡県)	2・3
村山城機	(東京都)	2・3
長谷川錦公	(静岡県)	2・3
岩田城龍	(東京都)	2・3
氏原城爽	(滋賀県)	2・3

新入会員の紹介
(11/21・3/11)

太田城司	(滋賀県)	2・3
國領城柳	(滋賀県)	2・3
高橋錦裕	(滋賀県)	2・3
外川錦夢	(滋賀県)	2・3
竹浦錦笙	(北海道)	2・3
田中城古	(滋賀県)	2・3
福島城楓	(滋賀県)	2・3
片山錦京	(三重県)	2・3
寺島城春	(滋賀県)	2・3
林 錦装	(愛知県)	2・3
中川城松	(岐阜県)	2・3
小田錦聡	(福岡県)	2・3
川崎錦諒	(鹿児島県)	2・3
上野錦翔	(大阪府)	2・3
吉見城洋	(愛知県)	2・3
堀池錦慶	(滋賀県)	2・3
吉松城勇	(宮城県)	2・3
久留米道場	益山千鶴	
名古屋守山支部	道田英和	
柏道場	榎本貞子	
長崎支部	有馬浄美 末吉房子	
宮崎喜一	松本みゆき 額川	
栄子	船津朋美 峯 与志子	
大津支部	谷口忠治 植田敏夫	
奥村英夫	長 俊吉 齋藤周	
志 東 宗司	野瀬昌子 中	
畑ひろ子	川島ゆずる	
水戸支部	大原保夫	
能登川支部	森 作也	
福山南支部	岸本利夫 岸本露	
美		
今泉延命寺双盤講保存会吟詠部		
吉田耕造	森 茂 西村啓子	
渡邊浩司	藤本誠子	
盛岡支部	山火浩之介	
可部道場	山本光恵 谷川悦子	
吉村猛文		
日野支部	羽田昭夫	
津支部	岡 勝治	
鹿児島支部	地福まさ子 田村	
侑子	福留良幸 藤井悦司	
栗東支部	長谷川佐智子 山内	
太珂子	太田久佐子	
柏道場	山崎千代子	
佐々支部	小林陽夏 小林愛咲	
小林紅葉	田中廣子	
垂水道場	寺坂洋子 國師洋子	
函館支部	奥野敬子	
諫早支部	栗崎富雄	
隼人道場	田畑 満	
小倉支部	谷口早紀子 平川由	
美 長 千代子		
南房総道場	西澤伸子	
玖珠支部	麻生心愛 酒井克彦	
岡垣支部	土屋百利子 白武真	
利子		
行橋支部	山中広子	
熱田道場	宮地吉男	
福山松浜支部	羽原澤美 水ノ	
上良三		
世田谷支部	野田美穂	
広島支部	中村直己 横山 稔	
高宮中央支部	西堀佐喜子 植	
田喜代子		



滋賀県近江八幡支部 琵琶の調べも華やかに初吟会

令和2年1月12日(日)に、

近江八幡支部の初吟会が、市内グリーンホテルに於いて開かれました。今年は、新人数人が増え、にぎやかに参加35名が、今年もしっかりと吟を続けるぞという意気込みで吟じました。

全員の吟詠が終了後、先日、近江八幡文化祭にも参加した琵琶吟『太田道灌』が、橋本錦映先生の琵琶、師範・総教師範数名の吟により演じられ、その音色の美しさに、皆、酔いしれました。琵琶の調べと吟の音が素敵

なハーモニを奏でました。

その後は、「今年も元気で」と乾杯、にぎやかに新しい年を祝いました。

(近江八幡支部・山田錦理)

札苗小学校 初吟会に参加して

1月10日(金) 札苗小学校で新春初吟の集いは開かれ、齋藤城弘先生以下3名が参加しました。これは、齋藤先生が毎年行っている行事で、吟の指導と発表会を兼ねたものです。

会は、児童50名、教員4名で実施され、大変盛り上がった会となりました。そんな中で感じたのですが、児童たちの瞳、純真・・・何世代もかけ離れた出会いの素晴らしい感動でした。児童たちの熱心に吟ずる姿は、何か自身の心が洗われるような、そして吟というものを一考させられました。

楽しい雰囲気の中に会は終了しましたが、その中で、一人の女性教師が、次のようにおっしゃっていました。「詩吟は、日本古来の伝統文化であり、今は日本の人たちよりも、外国の方々が関心を持ち、理解を示し

本部の動き
(元・11・21より 2・3・10まで)

11月24日 吟道之碑前祭

11月30日 茨城県本部の講習

12月1日 研修会と昇格審査

6日 常務理事会

7日 神奈川県本部の講習

研修会

ている感がある・・・皆さんは、とても良い趣味を持ち、続けることで日々の生活が潤う事と思っています。」

齋藤先生が同校において指導された数は、500名を超えるそうです。その貢献度は多大であり、容易なことではありません。我々道央本部では、伝統を守ってこられた4名が休会するそうで、残念でなりません。チャンスがあれば、また一緒に吟じたいと願っています。

令和2年となり、春が近いのに、新型コロナウイルスの感染の問題が起き、会も約半年休会に入ります。吟は、自分にとつて、心の糧として、これからも楽しみとし続けて行こうと思います。吟ずるだけでなく、内容や重みを感じ取れるそんな欲もあります。高齢になってからは、吟が時に励みになり、また慰め

1月15日 佐賀県本部大会
1月18日 理事会
25日 福島県本部の講習
26日 福島県本部の講習

2月5日 東京都本部の昇格審査

6日 神奈川県本部の昇格審査

審査

となる・・・そう思います。会が再開されたとき、皆様に合えることを楽しみに待っております。

(道央本部 長谷見城星)

一龍齋貞心先生の 「玉菊灯籠を聴く会」 のお知らせ

全国大会など、錦城会の数々の舞台で解説を務めて頂いている一龍齋貞心先生は、俳優として映画やテレビに出演されましたが、話芸に惹かれ講師になって50年になるそうです。その50年を記念する舞台が、今年11月25日(水)に国立演芸場で「玉菊灯籠を聴く会」として開催されます。

「玉菊灯籠」は大阪で伝承されている、大変珍しい一人遣いの乙女文楽との共演で、主人公の花魁「玉菊」を文楽人形が演じる悲恋物語で、平成12年度の

文化庁芸術祭優秀賞を受賞している講演です。また佐藤アキ子先生も琴・二胡の伴奏を務めるそうです。
入場券の発売は9月1日ですが、定員三百名でするので観覧ご希望されます方は、お早めにご予約をお願い致します。



(日 時) 11月25日(水)
午後6時開演

(会 場) 国立演芸場

(千代田区隼町4-1)

(入場料) 四千元

(入場券の申し込みは、9月1日以降に左記の連絡先まで)

お名前・人数・電話・住所を

Faxでお申し込みください。

03-3959-7924

はっい！ レディオ湘南(FM83.1MHz)へっす

地元FM放送『レディオ湘南』の取材によるQ&A形式でのサークル紹介の模様を、神奈川県藤沢支部の高羽城幹先生より投稿頂きました。

Q…取材記者

A…吟詠部長・仲里城幸
担当師範・高羽城幹

Q… 本日は、藤沢市広報番組『ハミング藤沢』のサークル紹介の取材に参りました。藤沢市内で活動しているサークルにお邪魔して、そのサークルの活動や雰囲気、魅力等をお伝えする番組です。今回は、藤沢市老人福祉センター『こぶし荘』で活動しております「こぶし吟詠部」の皆さんをご紹介いたします。メンバーの皆さん！インタビュのご協力をよろしく願います。まずは、担当師範の総師範・高羽城幹先生、詩吟とは何か？について教えて下さい。

A… 日本伝統文化に詩吟というものがあります。詩吟とは、漢詩や和歌等に、独特

の『フシ』を付けて歌うもので、今から千年もの昔からの中国の漢詩（李白や杜甫等）や日本の漢詩（吉田松陰・西郷隆盛等）など、立派な人が心を込めて作った名詩があります。それぞれ漢詩には、勇壮・教訓的なもの、風景・叙情的なもの、哀愁・懐古的なもの、慶弔的なもの等があります。これらの漢詩には、4行詩の絶句や律詩等長い詩がありまして、詩吟朗詠の伴奏には、尺八・箏・コンダクター等が使われ、音楽的感覚、精神統一、人間形成にも役立つものと思います。

Q… じてみませんか？・・・等と常にPRしております。
Q… さて皆さん、詩吟の事を少しご理解された所で、早速ですが、吟詠部長の仲里城幹さんにお伺いします。こぶし吟詠は、いつ頃どんなきっかけで設立したサークルでしょうか？
A… 今から11年前に、こぶし荘が、高羽城幹先生の指導による入門講座の募集を『広報ふじさわ』に掲載したところ、20人程の方々が応募され、4日間の講座を終了した後、参加者の希望によりサークル活動に移行して以来、お稽古を続けています。
Q… 詩吟入門講座は、毎年行われているんでしょうか？
A… 毎年1回、6月頃に、『広報ふじさわ』に掲載して、こぶし荘との共催事業として詩吟入門講座を募集しております。
Q… 今、こぶし吟詠部の会員は何人ですか？また、年代は？
A… 男性6人、女性5人計11人です。60代が1人、70代が6人、80代が4人です。
Q… こぶし吟詠部の皆さん、毎月のお稽古の他に発表の機会があるんでしょうか？

A… はい、ございます。1月に初吟会、5月に総会兼温習会、10月には70歳以上の会員による大寿吟詠発表会、この他に、5月には、こぶし荘主催の『こぶしまつり』がありまして、私達吟詠部のメンバーも参加させて頂いております。
Q… 年4回も発表の場があるという事ですが、お忙しいですね。
A… でも、皆さん楽しく大きな声で元気に歌っていますので、非常に楽しいですね。
Q… 本当にお元氣な仲里さんですが、さあ、それでは、こぶし吟詠部のメンバー募集を行っているとお話がありましたので、ここで、サークルのPRを代表者の仲里城幹さんからお願いいたします。
A… 私たちは、詩吟朗詠錦城流総師範の高羽城幹先生のご指導のもとで、毎月第2、第4火曜日、午前9時20分から11時20分までの2時間、会員一同楽しくお稽古をしております。どうぞ、詩吟に興味を持たれた方がいらつしやいましたら、是非こぶし荘へお越しください。また、体験や見学も大歓迎でございます。

Q… それでは、吟詠部の皆さんの詩吟をお楽しみ頂きたいと思えます。
A… 最初は、全員で、石川丈山作「富士山」の合吟をします。続いて、私(仲里)が、杜牧作の「山行」を、野中洋子さんが張継作「楓橋夜泊」を吟じます。最後に、詩吟入りの「武田節」を全員で歌います。
Q… 皆さん、如何でしたでしょうか？素敵な詩吟朗詠をご披露して頂きました。2番目の野中洋子さんは、目がご不自由なため、詩文を全て暗記しなければならぬという事ですが、全くそうない素晴らしいものでした。人一倍努力をされてお稽古に励まれている事と思います。
A… 本日は、お忙しい所を、レディオ湘南『ハミング藤沢』サークル紹介の取材にご協力を頂きまして誠にありがとうございます。今後のこぶし吟詠部のご発展を祈念して、終了とさせていただきます。
こぶし吟詠部の発足のきっかけ、その後の活動状況等、会員増強対策の一助にしたいだけと嬉しいです。(S)

天皇陛下御即位一周年奉祝

御製の吟

吟詠と剣詩舞の祭典

伝統を未来に

第一部『やまとごころを謳う』

第二部『御製の吟』

出演 日本伝統文化吟友会

全国大会優勝者(優秀吟士、優秀剣士、優秀舞士)ほか

司会 高木美智子

音楽監督 河野正明(作曲者)

特別出演 石垣清美(歌)、長瀬与佳(琵琶)ほか

尾葉石輝美(二重奏科子)

奥田雅美(二重奏科子) 四方の海(二重奏科子)

主催 日本伝統文化吟友会

共催 公益財団法人日本伝統文化振興財団

日本伝統文化吟友会(旧ピクチャー吟友会)主催の催しですが、新型コロナウイルスの影響により、急遽、11月以降に変更されました。

錦城流の教本に掲載されている

漢詩の作者(7) 上杉謙信



上杉謙信

杉氏を継ぎ政虎と称し、室町幕府將軍足利義輝の諱の一字を受け輝虎と改名した。弾正少弼となり、出家し謙信と号した。

生…1530年2月18日
没…1578年4月19日
(享年49)

(享年49)

戦国時代の武將で、幼名を虎千代、元服し長尾平三景虎、上

酒だけを樂しむという飲み方。

上杉謙信にまつわるエピソード
① 大の酒豪

② 敵に塩を送る

武田信玄が駿河の国に侵攻した時、駿河の国主・今川氏真はその報復として、信玄の領地に塩を送ることを禁止した。この

「馬上杯」という直径12センチもある大杯が遺品として残っている。49才という若さで亡くなったのも酒の飲み過ぎが原因との説が有力である。

【辞世の句】

四十九年 一睡夢

一期榮華 一盃酒

(四十九年の我が生涯は、一睡の夢に過ぎない、この世の榮華は一盃の酒に等しい)

謙信の軍旗には、「毘」の文字があった。この軍旗は、謙信が信仰していた「毘沙門天」の

一文字をとったものである。謙信の母、虎御前が信心深かったこ

とや、幼い謙信を教育した天室光育の影響によるものである。

国主の座に就いてから、謙信は

春日山城下に毘沙門堂を建立して毘沙門天を祀った。そして、日夜ここに参拝し、国内の安全と合戦の勝利を祈願していたと伝えられている。

(歴史上の人物・comより)

酒豪としての豪快さ、鋭い眼光で人を圧す威風を持つ反面、能筆家で和歌を好む繊細な文化人でもあった。權威や伝統を重視する古風な精神と、毘沙門天を熱烈に信仰する実直、潔癖な性格の持ち主で生涯独身を通した。

出典 朝日日本歴史人物事典

東京・半蔵門

国立劇場 小劇場

東京都千代田区千代田4-1 電話03-3265-7411

令和2年

4月24日(金)
午後5時開演 (4時30分開演)
(5時30分開演予定)

●入場料(全席指定) S席6,000円、A席5,000円 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
●購入お申込み
メールかFAXで、お名前・ご住所・連絡先の電話番号、メールアドレス等を明記の上、下記、総本部事務局にお申込みください。
主催者 日本伝統文化吟友会総本部事務局 〒231-0847 葛飾区中野竹之丸152-4
連絡先 Fax:045-641-4392 mail: info@japo-net.or.jp

吟詠曲目

第一部『やまとごころを謳う』(全24題)

第二部『御製の吟』(全20題)

1 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	1 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
2 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	2 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
3 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	3 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
4 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	4 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
5 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	5 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
6 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	6 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
7 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	7 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
8 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	8 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
9 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	9 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
10 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	10 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
11 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	11 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
12 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	12 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
13 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	13 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
14 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	14 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
15 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	15 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
16 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	16 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
17 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	17 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
18 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	18 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
19 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	19 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山
20 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山	20 大和心を詠った短歌(7題)	石川丈山

東京・半蔵門

国立劇場 小劇場

東京都千代田区千代田4-1 電話03-3265-7411
地下鉄をご利用の場合
半蔵門線 半蔵門駅 下車
6番出口(エレベーター・エスカレーターあり)
1階出口から 徒歩 約5分
有楽町線 半蔵門駅(有楽町線) 下車
4番出口から 徒歩 約5分
JRをご利用の場合
JR 田舎台駅から 徒歩 約15分

